



Viva!!

※学-Viva: 「Viva」は、「生きる」という動詞から生まれた言葉です。三重の「学び場」が生き生きするイメージで名付けました。

子どもたちの学びを支援します！

緊急事態宣言に伴う臨時休業から学校の再開に向けて、子どもたちの学びの継続を支援するために、三重県教育委員会のホームページ内に「新型コロナウイルス感染症対策ポータルサイト（教育委員会）」を設けました。

このサイトにある「児童生徒のみなさんへ」の「みえびい学びの応援サイト～小中学生のみなさんへ～」をクリックすると、臨時休業中に未指導となっている学習を支援するための児童生徒向け教材や教職員向け資料を提供しています。

みえびい学びの応援サイト ～小中学生のみなさんへ～

小中学生の子どもたちが家庭で学ぶことができる動画やプリントを提供しています。ぜひ、クリックして、家庭学習等に御活用ください。

●みえの学力向上県民運動ホームページ●

<http://www.mie-c.ed.jp/kenminundou/>



三重県・三重県教育委員会は、学校・家庭・地域が一体となって子どもたちの希望と未来を支える学力を育んでいく目標として「みえの学力向上県民運動」を平成24年度から展開しています。

みえびい学びの応援サイト
～小中学生のみなさんへ～

- 動画をみて みえびいと いっしょに勉強しよう
- 学習プリント
- 家での過ごし方
- みえネットスキル アップサポート
- リンク

動画をみて みえびいと いっしょに勉強しよう **クリック!**

小学校低学年向けの国語、算数等に関する動画を掲載しています。子どもたちが楽しみながら学習できるよう、県教育委員会マスコットキャラクターのみえびいと一しょに学習する場面設定にしています。動きを表す言葉を学んだり、数を数えたり等、年度当初に身に付けておく学習の基礎となる内容について提供しています。
(小学校低学年向け学習動画)

みえびいと いっしょに ことばをおぼえよう
うごきをあらわす ことば

みえびい と いっしょに あやとり に チャレンジ!
おうちでいっしょに やってみよう!

学習プリント **クリック!**

計算や漢字を中心とした基礎・基本の定着を図る内容や、「2月・3月期の学習内容に対応したワークシート（小1～中3の国語、算数・数学、理科）」を提供しています。児童生徒の自宅からパスワードなしでダウンロードできます。(対象：小学校1年生～中学校3年生)

計算プリント		漢字プリント	
たしかめプリント 「計算マスター」 (小学校1年生からが算数6年生までに対応)		ダウンロードする学年をクリック!	
1年生はこちら	2年生はこちら	小3	中1
3年生はこちら	4年生はこちら	小4	中2
5年生はこちら	6年生はこちら	小5	中3
		小6	

みえネットスキル アップサポート **クリック!**

インターネットを安全に使う知識を学ぶ問題プリントです。このプリントは日本語版のほか、日本語版（総ルビ）、ポルトガル語版、スペイン語版、タガログ語版を提供しています。
(対象：小学校3年生～中学校3年生)

リンク **クリック!**

文部科学省「子供の学び応援サイト」や経済産業省「学びを止めない未来の教室」、とこわかダンス動画、朝食メニューコンクールなどのサイトを紹介しています。

2月・3月の学習プリント

<小学校国語> 【教材図書教材名】 <東京書籍教材名> [ダウンロード](#)

学年	学習内容	ダウンロード
1年	大事な言葉や文を書き換えて【どうぶつのおしゃべり】(た)でたてのおぼえ	sko_23su001
...	言葉には、意味による語句のまとまりがある	...

先生方を支援します！

「**先生のページ**」では、下記の教材を提供しています。学校の再開に向けた家庭での学習や学校での学習指導に御活用ください。

先生のページ NEW

「**先生のページ**」をクリックすると、下のページになります。それぞれの項目にカーソルを移動し、校種、教科、領域にカーソルを合わせると、マウスマークが出てきますので、クリックしパスワードを入力すると、ワークシート等がダウンロードできます。ワークシートの中には、ワード形式のものあり、児童生徒に応じたワークシートを作成することができます。

先生のページ

授業改善サイクル支援ネット

学-Viva!!セット
小学校 中学校

育成カリキュラム たしかめプリント
割合編 図形編
読む力・伝える力編 たしかめプリント(単元書)

1シート5分でできる!!
学-Viva!!ドリル
国語 算数・数学

効果的な少人数指導推進ガイドブック
1上の1ナーをクリック!

2月・3月期の学習に対応したワークシート
小学校 中学校

4月・5月期の学習に対応したワークシート
小学校 中学校

2月・3月期の学習に対応したワークシート
小学校 中学校

4月・5月期の学習に対応したワークシート
小学校 中学校

臨時休業により未指導となった学習内容への各学校の対応に対する支援として、「2月・3月期の学習内容に対応したワークシート」と「4月・5月期の学習内容に対応したワークシート」を提供しています。学校再開後の家庭学習や教育課程内での補充のための授業や教育課程に位置付けない補習等で御活用ください。

学習の単位

電気の働き～電磁石のはたらき～

1. 磁石の働きを調べよう。

2. 電磁石の働きを調べよう。

3. 電磁石の働きを調べよう。

4. 電磁石の働きを調べよう。

たしかめプリント

4年生 立方体の展開図

1. 立方体の展開図で正しいものをすべてえらんで展開図の作り方をしよう。

2. 次の展開図を組み立てよう。あてはまるものをすべてえらんで、展開図を完成させよう。

3. 次の立方体と展開図の展開図を完成させよう。

4. 次の立方体の展開図を完成させよう。あてはまるものをすべてえらんで、展開図を完成させよう。

学-Viva!!セット
小学校 中学校

学習内容の理解・定着状況が確認できるよう、これまでの全国学力・学習状況調査やみえスタディ・チェックで見られた課題を中心に、当該学年で身に付けておくべき基礎からの標準的な問題で構成したワークシート(国語、算数・数学、理科を第5弾から第16弾までのワークシート)を提供しています。

育成カリキュラム たしかめプリント
割合編 図形編
読む力・伝える力編 たしかめプリント(単元書)

「わかる・できる育成カリキュラム(割合編)(図形編)(読む力・伝える力編)」を提供しています。小学校1年生から6年生までの学習内容について系統的に定着を確認できるたしかめプリント等を御活用ください。

1シート5分でできる!!
学-Viva!!ドリル
国語 算数・数学

学年末のまとめの学習(内容は、小学校は5年生まで、中学校は2年生まで)や補充学習、家庭学習で活用できるよう、基礎的・基本的な知識・技能を問う問題を集めたワークシート集(1シート5分程度で取り組むことができます)を提供しています。

たしかめプリント

3年生 角について調べよう

1. 角の大きさについて調べよう。

2. 角の大きさについて調べよう。

3. 角の大きさについて調べよう。

たしかめプリント

3年生 角について調べよう

1. 角の大きさについて調べよう。

2. 角の大きさについて調べよう。

3. 角の大きさについて調べよう。



学力向上 に向けた

具体的な実践事例

【事例 39】津市立北立誠小学校

～対話をもとに自分の考えを見つめ直すことを大切にする国語科の授業を通して～（2年次／3年計画）

学校目標「やる気いっぱい やさしいいっぱい 夢いっぱい」の実現を目指し、**見通し**をもって課題に取り組む子どもを育てています。国語科の物語教材を中心に、**全文シート**を用い、**比較する**問い（※1）によって自分の考えを見つめ直すことに注力した研修を進めています。

校内研修の充実

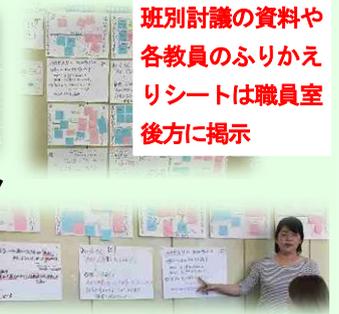
授業デザインと同形式での活動・タイムマネジメントで

子どもたちに自分の考えを見つめ直すことを求めるので、校内研修でも、各教員が教材研究の方法や授業の在り方、明日の授業に何が生かせるかを省察できるように年間計画を立てました。また、学期毎に立ち止まり、研修の在り方を見つめ直すようにしています。

KJ法でグループ討議後、全体討議。
その際、研修班が要点を板書し、整理する。

各回で全体司会・班別司会・発表者・
記録者（紙面／板書）を**輪番で行う**。
【教員一人ひとりの技量UP！】

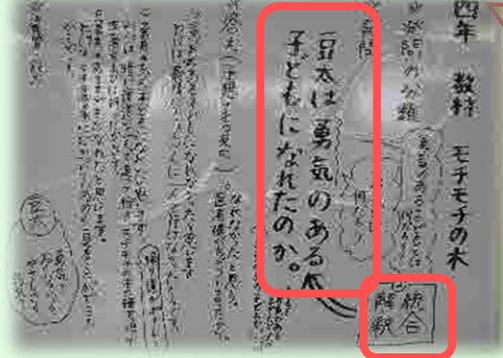
班別討議の資料や
各教員のふりかえり
シートは職員室
後方に掲示



体ほぐしの運動研修



ワールドカフェ方式で班を変えて前半・後半の討議



比較する問いづくりの研修

三重大学国語科教授 守田庸一教授
に助言をいただきながら、全文を俯瞰して**比較する**ことができるような
問いを「単元のめあて」に据えて、
PISA型読解力【統合・解釈】を
育むことができるように、計画的に
研修を積み重ねています。

英語 チャンツ・スモールトーク研修



教員のニーズに合った研修を実施。
【全教科の授業力UPを目指す！】

単元デザイン

- 第1次 考えの土台を作らせる。
- 第2次 本文全体を俯瞰的に、叙述と叙述を**比較**させて読ませる。
- 第3次 学習のまとめとして学習前の自分と学習後の自分を**比較**させて読ませる。

授業デザインモデル

- たしかめ
- めあての提示
- 文章との対話 【個人思考】
- 仲間との対話①【ペア→全体 対話】
- 自己との対話①【**見つめ直す**】
- 仲間との対話②【全体対話】
- 自己との対話②【ふりかえり】

対話の様子 主体的・対話的で深い学びを行う児童の姿



子どもたちは**全文シート**に書き込んだり、色をつけたりして、「似た叙述・繰り返されている叙述がどこにあるか」「題名がどこに書いてあるか」等を**比較して**主体的に探しています。

まずじっくり一人で



仲間との対話で



様々な形式の班別対話で



風車形式で



討論形式で

立場を決めてから自由対話で



津市立北立誠小学校長からのコメント

本校では、全文シートを活用しながら、「比較する」問いを重視した授業デザインの実践に重きを置き、各自が研鑽を積み重ねながら国語科の授業実践に取り組んでいます。「深い学び」の鍵となるのは、「見方・考え方」を働かせることだと考えます。その教材でしか味わえない面白さに数多く触れることは、子どもたちの見方や考え方を自在に働かせ、深い学びへと導いてくれる道筋となります。子どもたちにその教材でしか味わえない面白さを見つけさせる工夫・努力のために、教職員が「ONE TEAM」となり、子どもたちに様々な学びを提供していけるよう、授業改善を進めています。

※1 『「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた思考力を育む明示な発問』（津市版授業改善マニュアル理論編P30より）

新学習指導要領のもとで実施する学習評価③

「新学習指導要領のもとで実施する学習評価」最終回の今回は、各教科の評価の進め方や留意点、評定への総括についてお伝えします。

各教科の観点別学習状況及び評定は、**学習指導要領の目標に照らして**、その実現状況を、右の に示したように区分して、評価します。

各学校において目標に準拠した観点別学習状況の評価を行うに当たっては、観点ごとに評価規準を定める必要があります。つまり、「何を評価するのか」と尋ねられたとき、教師は「学習指導要領のこの部分」と答えられることが必要です。

☆ 観点別学習状況

A：「十分満足できる」状況 **B**：「おおむね満足できる」状況
C：「努力を要する」状況 と判断されるもの

☆ 評定（小学校第3学年以上）

3：「十分満足できる」状況 **2**：「おおむね満足できる」状況
1：「努力を要する」状況 と判断されるもの

☆ 評定（中学校）

5：「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況
4：「十分満足できる」状況 **3**：「おおむね満足できる」状況
2：「努力を要する」状況 **1**：「一層努力を要する」状況
と判断されるもの

評価の進め方の例

評価の進め方

1 単元（題材）の目標を作成する

2 単元（題材）の評価規準を作成する

3 「指導と評価の計画」を作成する

授業を行う

4 観点ごとに総括する

留意点

- 学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説等を踏まえて作成する。
- 児童生徒の実態、前単元(題材)までの学習状況等を踏まえて作成する。
- 1、2を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画する。
- どのような評価の資料(児童生徒の反応や作品など)を基に、B(「おおむね満足できる」状況)と評価するかを考えたり、C(「努力を要する」状況)への手立て等を考えたりする。
- 3に沿って観点別学習状況の評価を行い、児童生徒の学習改善や教師の指導改善につなげる。
- 集まった評価の資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価(A、B、C)を行う。

■ 評価の計画を立てることの重要性

学習指導のねらいが児童生徒の学習状況として実現されたかについて、評価規準に照らして観察し、毎時間の授業で適宜指導を行うことは、育成を目指す資質・能力を児童生徒に育むためには不可欠です。

一方、毎時間児童生徒全員について記録をとり、総括の資料とするために蓄積することは現実的でないことから、児童生徒全員の学習状況を記録に残す場面を精選し、かつ適切に評価するための評価の計画が重要です。

■ 観点別学習状況の評価に係る記録の総括

児童生徒の観点別学習状況の評価に係る記録を、観点ごとに総括する時期としては、単元（題材）末、学期末、学年末等の節目が考えられます。

総括を行う際、児童生徒の観点別学習状況の評価に係る記録が、観点ごとに複数ある場合は、例えば、次のような方法が考えられます。

- ・ 評価結果のA、B、Cの数をもとに総括する
- ・ 評価結果のA、B、Cを数値に置き換えて総括する

■ 観点別学習状況の評価の評定への総括

評定に総括する場合、各観点とも同じ評価が揃う場合は、下の に示したとおりとするのが適当であると考えられます。それ以外の場合は、各観点のA、B、Cの数の組合せから適切に評定できるようあらかじめ各学校において決めておく必要があります。

☆ 小学校（第3学年以上）の場合

「**BBB**」であれば評定「**2**」を基本としつつ
「**AAA**」であれば評定「**3**」
「**CCC**」であれば評定「**1**」

☆ 中学校の場合

「**BBB**」であれば評定「**3**」を基本としつつ
「**AAA**」であれば評定「**5**」または「**4**」
「**CCC**」であれば評定「**2**」または「**1**」

- ◆ このページは「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」を参考に作成しました。各教科等の評価規準の作成方法、観点別学習状況の評価に係る記録の総括の方法、評定への総括の方法などの詳細はこちらで確認を！ ⇒ <http://www.nier.go.jp/kaihatu/shidousiryoku.html>
- ◆ 独立行政法人教職員支援機構のオンライン講座で「新学習指導要領に対応した学習評価」の動画も公開されています！ ⇒ <https://www.nits.go.jp/materials/youryou/033.html>